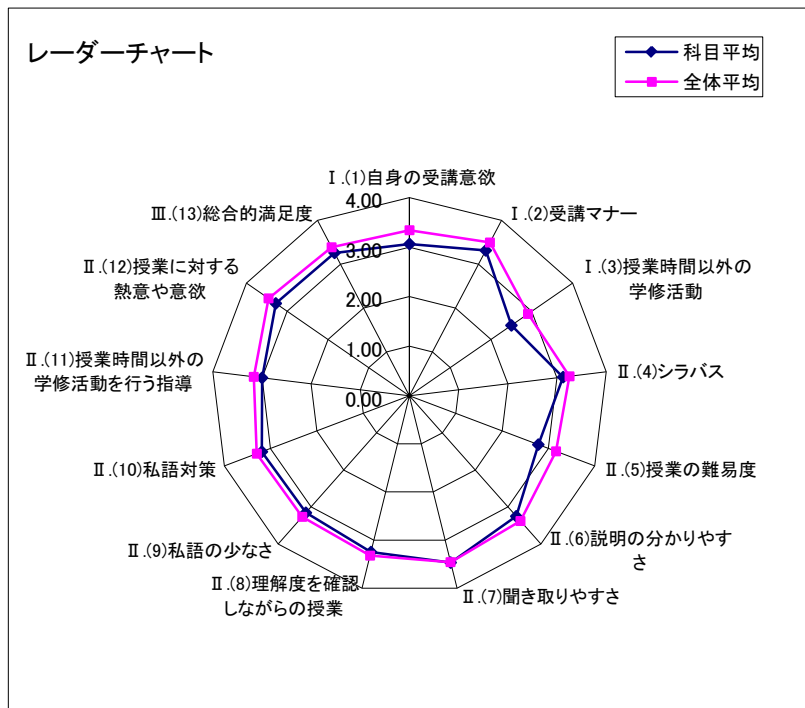


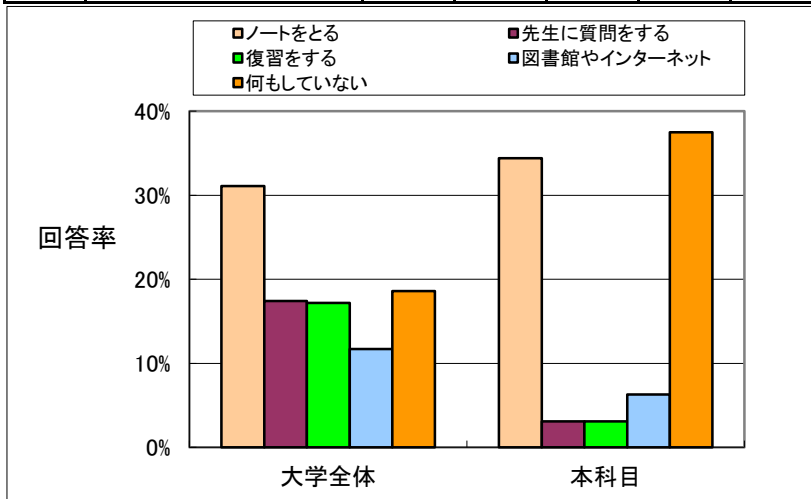
講義科目 授業アンケート結果



	設問No.	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	I.(1)	3.06	3.34
	I.(2)	3.31	3.49
	I.(3)	2.50	2.91
講義内容・方法	II.(4)	3.13	3.26
	II.(5)	2.78	3.16
	II.(6)	3.25	3.38
	II.(7)	3.47	3.46
	II.(8)	3.25	3.32
	II.(9)	3.16	3.27
	II.(10)	3.19	3.30
	II.(11)	3.00	3.17
	II.(12)	3.28	3.46
	総合評価	III.(13)	3.26

※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

〈※複数選択可項目〉		ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(14)	授業を理解するための工夫	34.4	3.1	3.1	6.3	37.5



	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	2.96	3.25
I.(1)~(3)		
講義内容・方法	3.17	3.31
II.(4)~(12)		
総合評価	3.26	3.39
III.(13)		

アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2012年度 後期
時間割番号	3309
科目名	日本国憲法
教員名	

①授業計画の達成度について

受講生の反応をみつつ、講義内容および講義の進め方を各回ごとに変更してきた。前者は分量を減らし、後者はゆっくりすすめるように試みた。そのため、当初シラバスに掲載した内容に比べて、教科書の内容を補足することはなく、薄く浅くなり、またシラバス通りの回数で進められなかった。総合的にみると、達成度は7~8割ほどであったと思われる。

②授業の進め方について

講義に際しては、レジюмеおよびスライドを用い、また時折ビデオ(ニュース等の報道番組、時事問題を扱った映画)を見ることとした。受講生が憲法の初学者ということ意識して、受講生に対し教科書を読む習慣づけることと、口述筆記の負担を減らして講義内容の理解を助けるため、教科書に沿った穴埋め式のレジюмеを作成した。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

全般的に見て、平均を下回る数値が出てしまったことから、講義全般に改善すべき点があると考えている。特に、受講マナーや学習意欲、授業時間外の学修は、講義全般の満足度に深く関係があるため、これらの点を中心に改善を試みたい。とくに、その具体的な方法は、講義内容への学生の関心を持たせることが中心となるが、一方通行の講義とせず、可能な限り受講生と講義中にコミュニケーションをとる双方向の講義を目指していきたい。ソクラテス・メソッド方式は難しいかもしれないが受講生が講義に積極的に参加し、受け身の学生を減らす講義をこころみたい。